

羊蹄山(1898m) 会山行記録

| | |
|------|--|
| 山行日 | H26年6月21日～22日(日) |
| 山行形式 | 真狩コース 一泊二日 小屋泊り |
| 参加者 | 藤木(たか)リーダー 藤木、山岸、澤田、永宮、西田(芳)、相馬、酒井、渡邊、近藤 |
| 計20名 | 笹山、及川、本野、川村(純)、西田(昌)、今野、穴吹、津川、斉藤、田中 |
| 天候 | 21日／曇りのち晴れ 微風、22日／晴れ 微風 |

悪天候続きでやっと晴天の予報が出て意気揚々と伊達を出発。予定の8時より早く駐車場に着くが、既に40台以上の車が有る。昨秋小屋が新築された事で私達も小屋泊まり。今晚の小屋泊り大丈夫か心配となった。急いで準備をし予定通り出発した。今回は真狩コース、前回登ったのは何時だったのだろう。全く記憶にない。その為初めて登っているような気がして新鮮だった。寝具、三食の食糧を担いで登っているのでちと重かった。しかし晴れたり曇ったり風はなく登山には丁度良い気候で、ほぼ各合目で休憩を取り順調に登る



真狩コース登山口

(6/21日 山行時間)

| 時刻 | 場所・状況・行動 |
|-------|-------------|
| 6:30 | 伊達道の駅 出発 |
| 7:50 | 真狩キャンプ場 駐車場 |
| 8:20 | 登山口 出発 |
| 11:50 | 7合目手前 昼食 |
| 13:20 | 9合目分岐 |
| 13:30 | 羊蹄山避難小屋着 |
| 20:00 | 就寝 |
| 登山Hr | 登り 5:10分 |

今日は泊り客が多いらしいと情報でA班が先発するやと小屋に着くと真新しい木造の2階部屋に案内され、通路を挟んで男女に分かれて寝ることに。そうこうしているうちにどんどん泊まる人が来て、通路はもちろんベッド下の空間にも寝る人がいた。私達が寝た2階だけで、30人位いたか、びっしり。避難小屋なので仕方がない。小屋は新しくきれいだったが、梁が低く何回も頭をぶつける事と、気密性が良いせいで暑く寝苦しかった。



重いリックで8合目を通過



新しい小屋の入口です



小屋2階寝床、立派な梁でぶつける



見事な夕日です 19:10分



沢に下りる所のシラネアオイ



小屋の前にあるツガザクラ。

6/22日(日)

翌日、今回目的の一つ「ご来光を拝む」為、2時30分に起床、3時に出発した。夜空に三日月、風もなく天気は良し。ヘッドランプを点けて真狩ピーク目指して慎重に登る。歩いているうちに夜が白み始め段々と景色が見えてくると周り一面に雲海が広がっていました。そしてその中に影羊蹄山がぼんやりと写っていました。見ている間に影は段々と色を濃くし、はっきりと姿を現してきました。ご来光は向いのピークからでないと思える事が出来ないと分かり今回は断念。その代り影羊蹄山を見る事が出来ました。思わぬ景色に見とれていましたが寒さも増して来た事から下山し、小屋に戻りゆっくり思い思いの朝食をとり休憩後登山口へ向けて下山しました。



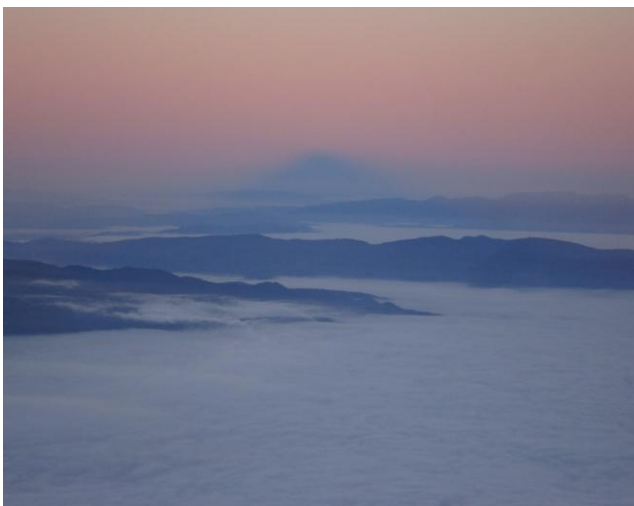
9合目からの登り 空には三日月が

(6/22日 山行時間)

| 時刻 | 場所・状況・行動 |
|-------|------------------|
| 3:05 | 羊蹄山避難小屋出発 |
| 3:50 | 真狩ピーク |
| 4:20 | 下山 |
| 4:55 | 羊蹄山小屋着 |
| 6:35 | 小屋出発 朝食&休憩後 |
| 10:20 | 登山口着 |
| 登山Hr | 下り 3:45分(小屋～登山口) |



頂上への分岐 右が真狩ピーク



雲海と影羊蹄山、神秘的です



真狩ピークで全員写真

今回の山行は、近くなのになかなか泊まる事のない羊蹄山小屋を、新しく建て直したのを機会に登ってみようとしたもので、さすが百名山、同じように考える人で小屋も満員でした。一人一品持参の食事男女別々に取る事になり、女性軍持参の豪華な料理を食べれなかった人は残念でした。またの機会をお楽しみに。お天気 リーダー有難うございました。又晴れでお願いいたします。